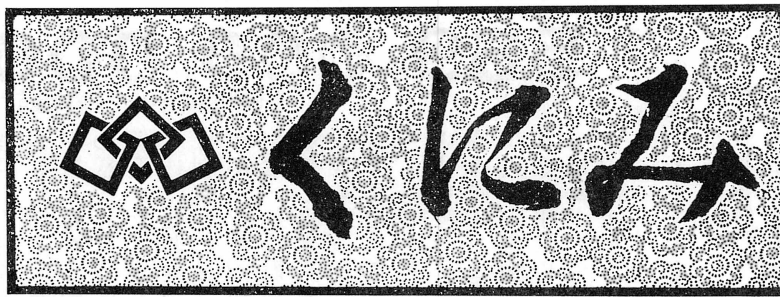


| | |
|-----------|---------|
| 人口と世帯数 | |
| 男 | 5,791人 |
| 女 | 6,135人 |
| 計 | 11,926人 |
| 世帯数 | 2,640世帯 |
| 47.4.1 現在 | |



福島県知事選挙

※政見経歴放送

- NHK総合
4月20日午後7時30分～7時59分
ラジオ第1
4月18日午前7時5分～7時40分
- FTV
4月16日午前11時15分～
- FCT
4月16日午前8時45分～
- RFC
4月15日午後10時～



※経歴放送

- NHKラジオ第1
4月19日午前11時55分～12時
4月20日午後6時50分～7時

そろつて投票
いたしましょう



明正選挙推進について

公民館長 佐藤善次郎
推進委員長

ただ今県知事選挙が酣でありますので、このようなことを書くのは、いささか泥縄の謗をまぬがれませんが、明るく正しい選挙の実現を希求するのあまり、敢えてペンをとりました。私どもは、敗戦という体験をへて、私どもの政治形態に民主主義をえらびました。しかし民主主義は、これを運営する国民の生活の全体が民主主義になってはじめて実現されるものと信じます。各自の家庭や職場に、お互いの人格を尊重し、寛容と協調とを心がけ、社会正義を実行する勇気がなければ、民主主義は実現いたしません。換言すれば、国民の一人一人が立派な社会人として、責任のある行動を要求されるわけです。そして民主主義は単に理解するだけでは達成されません。それが行動にうつされて、はじめて民主主義の理念が生かされるわけです。特に公明選挙に際して、この意味を強調したいと思えます。民主主義の顕現には、選挙こそ最もよい現場であると考えます。選挙には買収供応がつきまといっている現実、それらの悪質な違反を行なう候補者や、運動員が存在とともに、その違反を受け入れる社会の基盤や、底流のあつてを深く考えねばなりません。この底流を抹殺しないかぎり、いかに法律が整備されても、所詮ザル法にしかすぎません。違反者の厳罰も勿論ですが、これは物の表側だけであつて、その裏側の国民の自覚、即ち主権者意識の向上こそ、最も重要であることを忘れてはなりません。そうするには先づ買収や情実や義理や人情にとらわれることなく、自分の真実の一票を託するに足る人物を見わけるだけの教養と識見が必要になってまいります。このことが常時啓発の基本をなすものであります。そしてこの運動は、一つの大きな国民運動でありますから、いやしくも道義や秩序に背むくような言動は厳

にいましめ、一党一派に偏にするようなことがあってはなりません。もう一つは臨時啓発の問題であります。これは当面する選挙に対する運動でありまして、現時点では知事選挙に対する啓発活動になります。選挙の性格から考えて買収等の悪質違反は、第二義的に考えてよいと思えます。第一には何といつても投票率の向上にあります。投票することが県政に参与する、基礎条件であることを考えねばなりません。乗権は県政に参与する権利を、自ら放棄したものです。誰がどんな県政を布かれようと文句は言えないわけです。要するに乗権は自ら主権者の地位を放棄することになるわけです。又投票という行為によって政治に対する関心と意識を深め、政治教育の実際の機会になることも忘れてなりません。トーマス・マンの言葉に「選挙を軽べつする人間は、結極軽べつに値する政治しか持つことができない」と。私どもはよりよい民主政治の実現のために一票でも多い投票を念願してやみません。同時に町内各種団体の積極的なご協力をお願いいたします。

意欲的に住みよい町づくりを推進

待望の町民体育館建設

569,000,000円

(昭和47年度一般会計予算)

三月の定例町議会... 会期を六日間と決... 定し、四十七年度... 予算を含む二十九... の議案を可決確定... 閉会いたしました... 四十七年度予算... 針は、健全財政を... 堅持しながら重点... 事業の計画策定の... 基本方針にのっと... り、意欲的に住... みよい町づくり... を推進することに... 留意し、積極的な... 投資的事業の拡大... をはかり、住民福... 祉の向上につとめ... ております。

- *桑園造成事業補助 一、三〇〇千円
*水稻育苗センター設置事業補助 三、〇〇〇千円
*草地造成事業 一、七三四千円
*農地費の団体営事業 (農道補修整備等)
*予防費 二、三九三千円
*高速道関連事業 四三、〇四〇千円
*林道工事費 一、一五〇千円
*教育費 一、一五八千円
*重要文化財指定の古民家移築保存費 一三七、四三一千円
*町民体育館建設事業費 六四、三五五千円
*土木費 七五、五〇三千円
*道路橋梁費 (町道舗装、改良等) 五一、〇二九千円
*公営住宅建設費 一三、六三六千円
*総務費 六九、二二九千円
*交通対策費 一、四六〇千円
*町史編さん費 (第二年度目) 二、一六一千円
*民生費 四二、五七五千円
*老人、児童の福祉費を重点的に計上 三、八、一四八千円
*衛生費 三、八、一四八千円

*公立藤田総合病院組合 負担金 七、七六〇千円

*貝田簡易水道 七、七七五千円

*ロードパツカー購入費 (ゴミ運搬車) 一、九〇〇千円

*伊達衛生処理組合負担金 四、四八九千円

一、消防費 二、七一一千円

以上のおり、人間尊重を基調とした、豊かな町づくりと環境保全整備をめざして編成しました。

次に主な議案の内容は次のとおり

(イ) 国見町老人医療費の助成に関する条例の制定について

国保の被保険者、社会保険各法による被扶養者で

七十五才以上の老令者が療養を受けた場合その負担額を町で補助を行なう制度を制定したもの

(ロ) 国見町乳児医療費支給条例の制定について

満一才までの乳児が療養を受けた場合その負担額を町で補助を行なう制度を制定したもの

(イ) 教育委員会委員任命に同意を求めることについて

教育委員会委員武見弥八郎さんの死亡による後任

として大字藤田 奥山亀一さんを任命したもの

お悔み申し上げます (三月中に亡くなられた方 敬称略す)

死亡日 氏名 年齢 住所

3、29 阿部 氏 66 大木戸35

2、29 花輪 ヨシ 65 藤田 太子堂19の2

3、1 安彦 充栄 60 山崎 水門42

3、3 渡辺 ハツイ 73 藤田 南2

3、3 岡田 ヨシノ 80 貝田 寺脇5

4、4 松浦 浩子 29 石母田 上原38

7、7 松浦 藤雄 69 山崎 館36

10、10 吉田 正一 69 徳江 館25

14、14 徳江 宗兵衛 49 徳江 堀の内27

20、20 谷口 亀之助 83 森山 堀の内27

24、24 谷口 伝之助 73 森山 堀の内27

26、26 野村 マツ 69 泉田 川南54

29、29 内村 正 17 小坂 板橋23

30、30 佐久間 正代 66 塚野目 金屋12

昭和47年度 国見町一般会計歳入歳出予算 (単位千円)

Table with 4 columns: 区分, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減率. Rows include 町税, 地方譲与税, 自動車取得税交付金, etc.

Table with 4 columns: 区分, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減率. Rows include 人件費, 維持補修費, 扶助費, etc.

写真 奥山亀一さん



として大字藤田 奥山亀一さんを任命したもの

お悔み申し上げます (三月中に亡くなられた方 敬称略す) 死亡日 氏名 年齢 住所

わが町の古墳

奈良県明日香村高松塚古墳に極彩色の壁画が出たとか、大阪府玉手山安福寺横穴に六、七世紀の線刻壁画が見付かったと、このころ古墳ブームをまき起して、それによってわが国の歴史が書き替えられるぐらゐ重大なでき事だという。古代の歴史を知る上にそれほど大切な古墳が、わが町にはどうなっているのか。

町史編纂室では今、それぞれ専門の学者達に依頼して調査中なので、近く発刊される資料編を通して明らかにされるものと思う。

●塚野日古墳群
塚野日には昔から四十八塚あったと伝えられているが、その大部分は開墾されて田畑や果樹園となり、つぶされて家屋敷となつている。昨年現状調査をしたところ、形の残っているもの七基を含めて所在地が確認されたもの三十三基、他の十五基は不明である。現存するものうち、円筒埴輪を伴う古墳として全県的に有名なものが八幡塚古墳、それに次ぐのが錦木塚、これは去る三月測量調査の際刈払って清掃してみたところ、数十年前盗掘したままの惨状が現れた。横穴式石

室古墳である。この外この古墳群からは刀剣、須恵器石製模造品、曲玉など貴重な資料が出土しているのが有名である。

●堰下古墳
板橋住宅が建ててあるあたりに幾つかの古墳があったと伝えられ、その一つが今熊野神社境内となつて残っている。

昨年五月発掘調査をして縦穴式石棺古墳であることが確認され、かつて剣、鏡が出土し、最近宅地造成の際には立派な埴輪や石器があらわれたので俄然有名になった。

●森山古墳群
今の上野原にたくさんあつた上野古墳群の一部で、長栄寺裏の段丘斜面に四基残っている。昨年八月発掘調査の結果四ヶ墳から古刀二振、銀製耳輪二個を伴う横穴式石室古墳であることがわかり、地区民の熱烈な要望により完全な保存施設として立派な覆屋をつくられたことは当時の各新聞によって報道された。残る二基のうちにも石室があることが確認されている。

●その他
大木戸には遠光原から宇馬捨にかけてたくさん古墳があつたが殆ど開墾されて一基だけ残っている。また厚樫山裾野一帯に凝灰岩層を利用した横穴古墳がたくさんあつたえぞ穴と称するものはみな古墳である。字硯石にもあつたというがみなこわれている。

西大枝の大壇はみごと古松を頂いた円墳であつたが、戦時中いもむろを掘つたため枯れてしまったという、まことに惜しいことをしたものである。

さつと数えただけでもこんなにあり、石母田、貝田、光明寺等……調べればま

入会のおすすぬ
郷土史研究会へどうぞ

「わが町の歴史を知ろう。」
そして
「この国見町をこよなく愛する」ために、わたくしたちは、昨年七月「郷土史研究会」をつくりました。この一年足らずの間にたどつた本会の足あと、その歩みはまことにささやかなものではありましたが、わたくしたちは、いかに郷土を理解し、歴史的な考え方をつかみ得たか、ことばにつくせぬぐらい大きなものがあつたと思います。県内はもちろん、国内の遺跡発掘のニュースなど見聞するときのわたくしたちの受取り方

まだまだある。
こんなにくさんの古墳を持つた町村が他にあらうか？これらの古墳は、いわゆる古墳時代といわれる六世紀から、飛鳥、奈良時代の七・八世紀にかけてつくられたらしく、当時の東北の歴史を解明するにまことに貴重なものである。

道路や工場をつくり、農地や宅地を開発することも必要であるが、一たび破壊してしまえば永久にもどらない。文化財を大切にしたいものである。

(鈴木)

だまだある。
こんなにくさんの古墳を持つた町村が他にあらうか？これらの古墳は、いわゆる古墳時代といわれる六世紀から、飛鳥、奈良時代の七・八世紀にかけてつくられたらしく、当時の東北の歴史を解明するにまことに貴重なものである。

道路や工場をつくり、農地や宅地を開発することも必要であるが、一たび破壊してしまえば永久にもどらない。文化財を大切にしたいものである。

(鈴木)

よろこばれるものが用意されています。

記

一、講演会
庄司、梅宮、吉田、秋山など一流の先生方をお招きして信達の百姓一揆の話や古代の歴史と文化財をおききしました。

二、史跡探訪
仙台・多賀城方面や白河関跡・南湖など有名な史跡を見学視察しました。

三、歴史・民俗資料展示会
町の文化祭の一環として

珍らしい各種資料をあつめて展示したり、各区長さんから昔の絵地図をお借りして展示会を開きました。

四、遺跡の発掘調査に協力
今町では、町史編纂さんの資料あつめのため町内の遺跡の発掘調査や古文書の探訪を行なっています。が、会員は進んでこれに協力しながら、自分たちの勉強に資しています。遺跡発掘調査だけでも七回も協力しました。

おめでとうございませう
(三月中出生届をされた方 敬称略す)

| 出生日 | 氏名 | 親名と続柄 | 住所 |
|-----|-------|--------|------------|
| 21 | 安達 和也 | 正晴の3男 | 藤田鶉町一、27 |
| 22 | 高橋 恵一 | 朝幸の長男 | 山崎曲田2 |
| 22 | 佐久間京子 | 幸司の長女 | 森山上野台2 |
| 23 | 高野ゆかり | 伊勢男の長女 | 鳥取サイカチ沢12 |
| 23 | 菅井いづみ | 憲三の3女 | 藤田一丁田三12の1 |
| 26 | 佐藤 寛 | 邦治の2男 | 石母田深田7の2 |
| 3 | 高橋 寛 | 善勝の長女 | 山崎下川前16 |
| 3 | 後藤 正則 | 正昭の長男 | 高城中五 |
| 3 | 佐藤 弘樹 | 淳一の長男 | 森山東新田32 |
| 4 | 安藤 聡史 | 信晴の長男 | 小坂北畠57 |
| 5 | 斎藤 幸雄 | 正二の長男 | 徳江箱ヶ崎20 |
| 5 | 南 弘美 | 金作の長女 | 徳江拾俵橋1 |
| 6 | 榊 栄美子 | 友一の長女 | 藤田南62 |
| 8 | 斎藤 智美 | 真利の長女 | 貝田山ノ神前50 |
| 9 | 穴戸 絵美 | 文秋の長女 | 山崎北古館8 |
| 11 | 遠藤 功一 | 久幸の長男 | 森山東国見36 |
| 14 | 小野 広子 | 利一の2女 | 森山辻西10の3 |
| 14 | 佐藤 啓紀 | 啓次の2男 | 貝田寺脇15の2 |
| 16 | 斎藤 一明 | 金夫の長男 | 小坂小坂19 |

東北の歴史解明にひと役

奈良時代の窯跡群発掘

昨年秋のある日、「先生！こんなものがあった」といって、土器の破片十数個を大きなビニール袋に入れ、教育委員会に持込んで来た人があった。見ると、大木戸宇高橋の松浦悦治さん、通称「新つみ」の水を抜いたのでそのほとりを歩いていたら水ぎわにあったので拾ってきたという。たまたま町史編纂資料がして血まなこになっていった事務局では、早速下検分したところ、まさしく西岸一帯に窯跡らしいものがある。念のため県史編纂室の目黒先生や同編纂委員梅宮先生、更に多賀城の工藤先生など専門家達に見てもらった結果、平安時代初めの窯跡であろうという。町史編纂室ではいま、徳江麿寺や高城大正寺、石母田正玄堂などの解明のためせひその瓦を焼いたところを見付けたいと思っていたので、早速十二月の町議会に諮って予算を補正してもらい、先日竹の内遺跡と共に四十六年度内に発掘調査することになったのである。

発掘は三月十五日から一週間、宮城県多賀城跡調査研究所の工藤雅樹技師を担当者に、桑原、進藤、小松高野各氏を調査員に依頼し、尚補助員として地元大木戸区(山根、大木戸両部落)民の応援を求めた。「われらの遺跡はわれらの手で保護顕彰するんだ」……という大木戸魂というか、部落民の執念というか、連日多勢の旦那さま方が出勤して熱心に協力し、婦人たちは交互に出て風食やお茶の接待をしてくれたのはほんとうに頭がさがった。その至誠が天に通じたものか初日からすばらしい遺物があらわれた。

「これは奈良時代のものだ」「一時代さかのぼる……」「多賀城と同じものだ！」しろうとから見ればなんのへんてつも無い土器のかけらを丹念に調べながら、移植ベラや竹ベラで慎重に掘っていきのた。大半は築堤工事やその後の水蝕で削り取られているが、幅一メートル半、長さ六、八メートルの窯跡が四つ現れた。いづれも、まっか焼けて固まった底や側壁、天井の一部も残って、ありし日の窯の姿が彷彿する。三つはト

ンネル式、一つは半地下式と呼ばれるものとのこと。これらの中や付近から茶わん、皿、つぼなどの破片、更に平安時代のもと思われる土器の破片も数多発見されたところから、奈良時代から平安時代にかけて大規模な焼き物を作った部落の存在が推定される。

こうして全体の姿が現れた十九日の午後二時から現地説明会を開き、担当者工藤先生からくわしい説明があった。先生の話によれば、東北地方で奈良時代に属する須恵器窯跡としては宮城県涌谷町長根窯跡、同じく色麻村日の出山窯、それに福島県では福島市小倉寺高畑窯跡、関東地方を含めて数例しが知られていないという。

その意味で今回調査した大木戸窯跡群は東北の歴史を知る上に貴重な遺跡であって、国見町史編纂にあたってこのような遺跡が発見調査研究されたということはいべきである。(鈴木)

青春を豊かに生きよう

青年学級で活動
してみませんか

昭和四十七年度の青年学級を次により開設いたします。

- 1 町内に在任し勤労に従事している25才までの青年が豊かな教養と、実生活に必要な知識技能の習得をはかるために開設する
- 2 開講期間昭和四十七年四月から四十八年三月まで
- 3 開設場所 国見町公民館(福祉センター)
- 4 申し込みは四月二十日まで、くわしくは公民館に問い合わせください

スポーツ障害保険に加入しましょう

まずスポーツをやるには障害保険に入りましょう。

この保険は、スポーツ団体、その他の社会教育関係団体(青年団、婦人会、子ども会、スポーツ愛好会、スポーツ振興会)のうち十名以上の団員で構成され活動している団体が対象になります。

保険料は年間一人一〇〇円。

で保険金は団体活動中(スポーツ活動に限らず)に起った事故に対し最高三十万円、最底一日三〇〇円の医療保険金が支給されます。くわしくは公民館(福祉センター)に問い合わせてください。

あつかし俳句会 (三月十八日)

兼題 「水温む」 「春めく」 席題 「卒業」

ひと冬を越して婚家の水温む
蓮の芽のうごきて止みぬ水温む
春めくや北の山脈見て飽かず
万象の息吹きを肌に春めけり
潮さいの遠く近くに春めけり
憶い出をたぐり俄かに春めけり
せり板になまこみにくし春めきぬ
春めくや日向にころぐ孕猫
視野遠く橋架の見える春めけり
春めくやよち／＼と係臂振りて
惨劇も過去に山莊春めけり
春めくや神に参ずる手提買ふ
卒業のネクタイ着けて母に問ふ
水温む団地の係を思いけり
水つつ子ありて山田水温む
吾もまた希望多かりき卒業期
春めくや群多かりよき卒業期
新聞を配る動きに春めきぬ
水車小屋今は主なく水温む
春めくば風のなやまし孤獨の夜
春めくやくすりや若し国訛
春めくや地蔵の頭布うしろ向く

兼題 「卒業」

早田 灰鳥
奥山 甲二
齋藤 黄鶴楼
一 陽
たか 陽
勝エ 雄
正一 雄
正一 雄
痴 仏
雨 田
鳶 水
山 月
泰山 泉
夢 山
吐 絹
貞 治
はる 子
祥 子
昭 子
え 子
秋 子
栄 子

| | | | |
|-------------|--------|--------|---------|
| 企画室室長 | 助役 | 赤坂 正勝 | 総務課企画係長 |
| 企画係長 | 水良 正勝 | 税務課企画係 | |
| 企画係(主査) | 清久 靖明 | 総務課企画係 | |
| 総務課財政係 | 八巻 八十八 | 総務課企画係 | |
| 文書係 | 後藤 美枝子 | 総務課企画係 | |
| 文書係 | 安藤 信男 | 総務課企画係 | |
| 文書係 | 菅野 俊江 | 総務課企画係 | |
| 税務課賦課係 | 吉田 英智 | (新規採用) | |
| 住民課保健係 | 武田 幸江 | (新規採用) | |
| 産業課産業係 | 八島 幸江 | (新規採用) | |
| 水道課水道係 | 佐藤 幸江 | (新規採用) | |
| 教委町史編さん係 | 渡部 正俊 | 県北中学校 | |
| 社会教育係 | 吉田 美代子 | 総務課文書係 | |
| 保育所係 | 後藤 登美子 | 住民課保健係 | |
| 教委社会教育係(主査) | 佐野 貞治 | (新規採用) | |